

# ちくせい

特集

ちくせい  
伝統工芸めぐり

技の銘品

## 真壁石燈籠

散歩道 真壁石を訪ねて

すくすくスクール

筑西市立村田小学校

構成市の話題あれこれ

ニュースすくらんぶる

広域すくらんぶる

いばらきヘルスロード

県西総合公園のボランティア活動

### データ筑西広域

結城市、筑西市(旧下館市、旧関城町、  
旧明野町、旧協和町)、桜川市(旧岩瀬町、  
旧真壁町、旧大和村)

●総人口 214,681人

●総世帯 66,067世帯

(平成17年10月1日現在)

写真:筑西市東樞生(下館)から見た筑波山  
(平成17年2月20日撮影)

撮影者:江田達夫氏(筑西市乙)

編集・発行

筑西広域市町村圏事務組合

ホームページ <http://www.tikusei.or.jp>

# 真壁土石燈籠

繊細さと重量感  
江戸時代から続く石の妙技

## 石燈籠づくりの音が響くまち

真壁石燈籠は、茨城県では結城紬、笠間焼に次いで、平成7年4月に国の伝統的工芸品に指定されました。「こみかげ石」「常陸こみかげ石」とも呼ばれる真壁石に、繊細な彫刻を施した石燈籠。その姿は重量感にあふれ、苔がつくと一段と趣を増します。

そもそも真壁地区で石材工芸が始まったのは、室町初期と伝えられています。江戸時代に石材業が盛んになり、専門の石工も登場。そして江戸中期から、常夜燈として石燈籠がこの地域の寺社に奉納されるようになりました。密弘寺には、江戸末期に久保田吉兵衛のつくった常夜燈が現存しています。

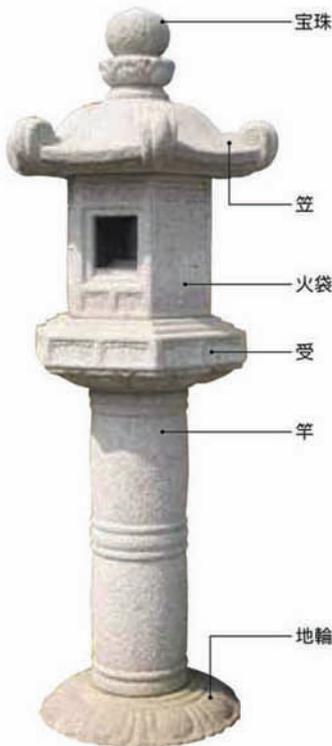
真壁地区で本格的に石材が採掘され始めたのは明治30年以降。昭和40年代は造園ブームに乗って真壁石燈籠は人気を集め、全国屈指の産地に成長しました。当時は朝から夕方まで、ピッチャンピッチャン、コツコツコツと、まさに石燈籠づくりの音が響いていたそうです。そして昭和から平成へ時代は移り、伝統技法を継承した名工たちの努力に支えられ、国の伝統的工芸品に指定されたのです。



密弘寺の常夜燈は、真壁地区に現存するなかで最も古い石燈籠。真壁石燈籠の歴史を物語る作品である。

## 技術を支える伝統工芸士

真壁石燈籠づくりには、18の伝統的技術・技法が用いられます。そして宝珠、笠、火袋、受(中台)、竿(柱)、地輪(下台)の6つの部分を各々仕上げ、最後に積み上げて完成となります。現在、製作に携わっている職人のなかで、熟達した技術を持つ26人が「伝統工芸士」に認定されています。そのうちの3人にお話を伺



1基完成させるのに平均で2週間、彫刻の凝ったものは約1カ月かかる

いました。

「真壁石は粘りがあって、細かい彫刻がしやすい石。慣れると、手で触っただけで石の目が分かるようになります」と語るのは、職人歴35年の西片規雄さん。石の目をよく見極めないと割れてしまう恐れがあるため、石の選択も重要な工程の一つです。

小原正さんは「石燈籠はバランスが命」と教えてくれました。平面図だけではバランスがつかめないと、石燈籠づくりの奥深さがあるようです。石匠としての夢は、「自分のつくった石燈籠を、長い歳月大切にしてくれるお客さんに巡り会うこと」です。

郡司浩さんは、伝統工芸士では若手の42歳。父親を師匠として、18歳で修業の道に入り、見た仕事を盗む。そうやって覚えていくものです」という郡司さんが、自分だけで1基つくられるようになったのは、10年以上たってから。現在は真壁石燈籠の職人であることに誇りを持ち、学び続けながら石と向かい合う日々。若き後継者たちの心と腕に、真壁石燈籠の伝統が、しっかりと受け継がれています。



大割り おおよその形を整えて荒取りする



のみ入れ のみを何種類も使い分け、さらに形を整える



びしゃん仕上げ 叩く面がギザギザした金槌で表面を仕上げる



小たたき仕上げ 高級な仕上げで、刃のあとの横筋が見える

### 18の伝統技術・技法

- 1 墨出し
- 2 こぶはつり
- 3 荒切り
- 4 中切り
- 5 へりむしり
- 6 角とり
- 7 片刃払い
- 8 たたき払い
- 9 のみ切り仕上げ
- 10 びしゃん仕上げ
- 11 たたき仕上げ
- 12 消しつき仕上げ
- 13 筋消し仕上げ
- 14 突彫り
- 15 沈め彫り
- 16 透かし彫り
- 17 浮かし彫り
- 18 肉彫り



同副会長の小原正さん



真壁石燈籠伝統工芸士会会長の西片規雄さん



若手の伝統工芸士の郡司浩さん



伝統の技を生み出す工具類



加波山九合目付近の採石場

常陸三山（筑波山・加波山・足尾山）のふもとに位置する真壁地区は、石器時代から石の産地でした。真壁石は、石英・長石・黒雲母からなる花崗岩で、目が揃って変色しない、つや落ちしない、水分が上がらないなど、品質の良さで知られています。その採石場は危険なため一般の人は立ち入れませんが、遠くから加波山を見上げると、白い岩肌の出ている場所が何カ所か見えます。

真壁地区を車で走ると、道路沿いに石燈籠を展示した石材店が次々と姿を現します。県道沿いにももちろん、細い通りのあちろちらにも展示場があり、まち全体がシヨールームのようです。真壁石燈籠検査委員長を務める加藤征一さんの展示場には、伝統的な形から創作物まで、多種類の石燈籠がずらりと並び、ていねいな説明を聞くことができました。

石の町・真壁の町割りには江戸時代初期につくられたもので、古い蔵や門など歴史を感じさせる景観と出会えます。そんな街並みを楽しみながらのウォーキングもおすすりながら、ゆつくり歩いてみませんか。

## 散歩道 真壁石を訪ねて



伝統的工芸品真壁石燈籠の展示場

## 「村田ふれあい祭り」と広がる地域交流

西に小貝川が流れ、東には筑波山がそびえる農村地区。そんな自然豊かな環境で村田小学校の児童たちは学んでいます。児童数200人、全学年1学級のアットホームな学校で、大きな特長は地域との結びつきが強いこと。さまざまな学校行事や活動に、保護者だけでなく地域の人たちが参加・協力しています。

平成13年から毎年開催しているPTA主催「村田ふれあい祭り」は、児童・保護者・地域に住む高齢者の三世代が交流する祭りです。教室内での「ふれあいタイム」は、折り紙、お手玉、射



村田ふれあい祭りを絵で表現



昔の遊びを教わる子どもたち



左から坂入勝範教務主任、北澤雅之校長、谷島修一教頭



臼と杵を使ったもちつき大会は地域の人たちに大人気



盆栽教室で育てているサツキ

計画を立てて実施します。次に、会場を体育館に移して「ふれあい音楽祭」。児童は金管バンド、太鼓、歌などを、高齢者は舞踊、三味線、歌などを披露します。音楽祭の後は校庭に出て「食とバザーのお祭り」を楽しみます。教務主任の坂入勝範先生の印象に残っているのは、戦争体験など昔の話聞いて、熱心に質問する子どもたちの姿。そんな児童の一面に触れ、「ふれあい祭りを通して、伝承すべきことをしっかりと伝えたい」という思いを強くしたと言います。高齢者にとっては話すことが楽しみの一つ。今では多くの人が祭りの日を心待ちにしているそうです。

ほかに、年間20人以上がゲストティーチャーとして授業に協力。農家の方の協力でキノコ栽培を学んだり、発砲スチロールの小さな田んぼで米作りを体験したりしました。また、昨年の「家庭教育学級」でも地域の人が講師となり、「サツキ盆栽教室」を開催。どういう木にしたいか毎年絵を描き、卒業まで6年間かけて育てていきます。さらに、運動会で踊る「明野音頭」も指導するのは地域のお年寄り。毎週金曜日には、教室を改装したサロン室で「高齢者学級」を開催。今年から、特に低学年の下校時間に地域の人に家の外へ出てもらい、児童たちを見守る運動を開始。このように、学校と地域がしっかりと連携しています。



観光物産センターにて、野村耕会長(右端)と会員のみなさん

### 出会いの数だけ生まれるふれあい、結城まち案内人

エンジョイ!  
CLUB

結城市観光  
ボランティアアガイド協会

結城市

本場結城紬に代表される伝統工芸や、古い歴史を物語る史跡の数々。そんな結城市の魅力が地元で暮らす自分たちで紹介しようと、平成10年に発足しました。現在26人の会員が活動しています。申し込み受付とコース設定は結城市商工観光課で行い、会員は当日のガイドを引き受けます。歴史に強い人、結城紬に詳しい人など、それぞれの得意分野を生かして案内。会長の野村耕さんは「心のふれあいを何よりも大切にしたい」と、飾らないあたたかさで観光客を迎えています。

1人から案内し、標準コースだけでなく希望に応じたコース設定も可能。2度、3度と利用する観光客も増え、全国からたくさんの礼状が届いています。現在、このような観光ボランティアアガイドは全国各地で活発になっており、発足から7年たった結城でもすっかりまちに定着しています。今年度からは自主事業として、「親子でふる里再発見」「結城七福神めぐり」「結城七社のめぐり」などをスタート。積極的に地域の魅力を発信していきます。

## 桜川市●

HP <http://www.city.sakuragawa.lg.jp>

### 桜川市スタート

—開庁式—

岩瀬町、真壁町、大和村の3町村が合併して10月1日に新生「桜川市」が誕生しました。同日は、本庁舎である大和庁舎で、旧首長をはじめ議会議員や職員の出席のもと、開庁式が行われ門出を祝いました。式典の中で、市長職務執行者の飯島輝信旧大和村長は「5万人市民の皆様が幸せと感じるような魅力ある新市建設のため頑張ってください」と、あいさつがありました。伝統と歴史の調和のとれた桜川市建設のためご支援ご協力をお願いします。



様が幸せと感じるような魅力ある新市建設のため頑張ってください」と、あいさつがありました。伝統と歴史の調和のとれた桜川市建設のためご支援ご協力をお願いします。

お問い合わせ／☎0296-58-5111 桜川市役所

### 桜川市誕生記念 桜川市真壁町ふるさと産業文化祭

11月20日(日)

11月20日(日)、真壁中央公民館周辺をメイン会場に「桜川市真壁町ふるさと産業文化祭」が開催されます。当日は、商工まつり、みんなの消費生活展をはじめ、石材協同組合、工業会などの団体によるイベントが行われます。お友達同士、ご家族等でお出かけ下さい。なお筑麓文化祭作品展は11月24日～27日、音楽祭は12月11日、芸能祭は平成18年2月12日開催予定です。



お友達同士、ご家族等でお出かけ下さい。なお筑麓文化祭作品展は11月24日～27日、音楽祭は12月11日、芸能祭は平成18年2月12日開催予定です。

お問い合わせ／☎0296-55-4111(代) 真壁町商会

### やれ食べるほら食べる 「大飯まつり」12月中旬

12月中旬、桜川市下泉・本郷の両地区で『大飯まつり』と呼ばれる奇祭かつ愉快的な祭りが行われます。両地区とも神事の後「しょうばん」の合図により、おわんから30センチ近く高く盛り上がった7合のご飯をサンマ・酢の物・けんちん汁をおかずにご飯をのせて食べ始めます。その後、下泉地区では、当番の家の主人が着物・羽織を着て、稲わらで編んで



作ったハチマキやタスキを身にまとい「鹿島様」に扮し、大しゃもじに飯をのせて「もつと食べるもつと食べる」と接待をします。是非見に来て見ませんか。

お問い合わせ／☎0296-75-3111 岩瀬支所経済課

## 結城市●

HP <http://www.city.yuki.ibaraki.jp>

### 防災を楽しく学ぼう 消防広場

11月27日(日)

防火について楽しく学んでもらう消防広場を、結城消防署南出張所で開催します。地域の幼稚園児からお年寄りまでが参加する、消火器や



バケツリレーでの初期消火訓練や、消防団によるポンプ車操法の実演、消防自動車に乗車できるコーナーなどがあります。ご家族お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

お問い合わせ／☎0296-32-1111 防災交通課

## 筑西市●

HP <http://www.city.chikusei.lg.jp>

### 中世の小栗伝説を再現 小栗判官まつり

12月4日(日)午前9:00～

12月4日、今年で16回目となる『小栗判官まつり』を開催します。中世後期から近世にかけて、日本全国に広がった小栗判官の物語。当日は、馬にまたがった小栗判官が、照手姫や小栗十勇士、子ども武者



など約300人を連れて新治駅前通りを練り歩き、伝説の世界を再現します。また、メイン会場となる新治小学校グラウンドでは、商工祭、歌や踊りなどのステージ、模擬店などの催しを予定しています。

お問い合わせ／☎0296-57-2511

小栗判官まつり実行委員会(協和支所経済課内)

### しもだて美術館企画展 皮革造形の世界 大久保婦久子展

11月23日(祝)まで



「刻No.1(洪積期) 昭和60年

日本だけでなく海外でも高く評価されている皮革造形美術の第一人者・大久保婦久子(大正8年～平成12年)。女子美術専門学校(現在の女子美術大学)在学中に革染色と出会い、それまで日本には無かった皮革造形の分野を独自に開拓。平成12年には文化勲章を受章しています。今展では、遺族から旧下館市に寄附された作品42点を中心に、57点の作品を展示・紹介します。

入場料:一般500円 高校生以下無料

お問い合わせ／☎0296-23-1601 しもだて美術館(アルテリオ3F)

# いばらきヘルスロード

健康づくりのためのウォーキングなどに適した、茨城県指定のお散歩コースです。現在、県内に115コースあり、そのうち筑西広域圏内には11コースが指定されています。身近なヘルスロードを利用して、自然や歴史に触れつつ、健康のためのウォーキングを始めてみましょう。

## 【筑西広域圏内のヘルスロード】

014	上野沼周辺の散策[桜川市(旧岩瀬町)]	2.6km
015	りんりんロード岩瀬～雨引コース[桜川市(旧岩瀬町)]	9.2km
091	勤行川さくら堤ウォーキング 千佐橋～高島橋[筑西市(旧下館市)]	2.3km
092	田畑と川沿いのウォーキング[筑西市(旧下館市)]	4.5km
093	鹿窪運動公園[結城市]	3.5km
094	紬と花と白壁と[結城市]	8.2km
095	さわやかロード[筑西市(旧関城町)]	5.4km
096	元気館～図書館周辺を歩くコース[筑西市(旧明野町)]	2.6km
097	まかべ歴史、街並み散策コース[桜川市(旧真壁町)]	2km
098	つくばりんりんロード[桜川市(旧真壁町)]	19km
099	りんりんロード[桜川市(旧大和村)]	9.4km



### おすすめコース①

## 上野沼周辺の散策

[No.014/桜川市(旧岩瀬町)]

上野沼をぐるりと周遊するコースです。岸には木道が伸び、水辺のせせらぎや噴水などの景色を楽しみながら散策することができます。また、野鳥や昆虫などの自然観察にも最適です。



### おすすめコース②

## 鹿窪運動公園

[No.093/結城市]

公園の外周をぐるりとめぐるコースです。園内はとても広々としていて、体育館、野球場、多目的運動場など公園内の施設や池の廻りを歩くことができます。休憩中に野球やサッカーを観戦することも楽しみ方のひとつです。春にはラベンダーなどの花々が楽しめます。



## 県西総合公園のボランティア活動

### 「県西総合公園を親しむ会」と「テニス愛好会」

筑西広域圏内のほぼ中央にある県西総合公園。広々とした園内は美しい自然に包まれ、スポーツ施設や遊具などが充実しています。さらに身近で親しみやすい公園とするため、今年、園内の清掃等を行うボランティアグループ2つが活動をスタートしました。

4月に発足した「県西総合公園を親しむ会」は、花壇づくりや除草、ゴミ拾いなどを通して公園の自然を守り育てています。現在の会員数は17人。

会長の菜花房子さんは四季折々の景観の移り変わりを楽しみに、これまでも公園に足を運んでいました。ウォーキングをしている人達とも、ほと

んどが顔見知り。愛着のある公園です。ボランティア活動は月1回定期的な集まりがあるほかは、水やりや草取りなど、来られるときに来られる人が活動するスタイル。無理強いないよう気を配りながら会員に電話すると、「楽しみに待っていました」「喜んでいきます」という声ばかりだとか。今は公園で開催されるイベントへの参加・協力、水仙の花壇づくりなど、活動内容はますます多彩に。「池の周りにも花を植えたいし、やりたいことがたくさんありますから、人手は多いほど助かります」と、菜花さんはボランティアへの参加を呼びかけています。



公園入口の花壇には、色とりどりのペチュニア、デージー、ガザニアなどが花を咲かせる



足しげく公園に通う「県西総合公園を親しむ会」会長の菜花房子さん



テニスコートの整備からマナーまで丁寧に指導



「テニス愛好会」会長の枝弘道さんは元高校教師

7月には「テニス愛好会」が発足。これは5、7月に開催したテニス講座が終了するとき、コート整備やコート周辺の草取り・清掃などを行うボランティアを募ったところ、10人が賛同して活動し始めたものです。会長は、ボランティアでテニス講師を務める枝弘道さん。「テニスが上達する楽しさを感じたら、コートを大切にしよう、きれいにしようという意識も自然に育ってくれば」と、自発的な活動の広がりを期待しています。

お問い合わせ、ボランティア申し込み  
**県西総合公園 管理事務所**  
 筑西市桑山2818  
 TEL.0296-57-5631 FAX.0296-57-5881  
<http://www.tikusei.or.jp/pickup/f-kensei-park.htm>

## 筑西遊湯館からのお知らせ

### トレーニングジムで汗を流してみませんか？

平日●10時～22時30分  
 土・日・祝日●10時～21時  
 休館日●木曜日（祝日の場合は翌日）  
 お問い合わせ●TEL.308-0855 筑西市下川島471番地2  
**TEL.0296-33-5151**

トレーニングルームには、自転車エルゴメーター、ウォーキングやランニングできるトレッドミルなどのトレーニングマシンがあり、健康増進や筋力アップのエクササイズに最適です。随時トレーナーからマシンの使い方などのオリエンテーションがあり、希望者にはトレーニングメニューの作成や体力測定を実施しています。他にも温水シャワー、露天風呂などのお風呂、リラクゼーションルーム、大広間などあり、子どもから大人までゆったりと快適に過ごせます。



### 【筑西遊湯館料金表】

#### ①ビジター料金

施設利用料	大人 (中学生以上)	小人 (4才～小学生)	高齢者 (65才以上 証明書持参者)	障害者 (手帳持参者)	障害者の 介助者	幼児 (3才以下)
全施設	600円	300円	500円	200円	500円	0円
和室	1室2時間につき、1,000円、延長30分毎に500円 (占用利用の場合、事前申請が必要です。)					
研修室						

#### ②年間会員

年会費	大人 1回料金	高齢者 1回料金	年間会員登録日より1年間は 左記の料金で利用できます。 (譲渡不可)
5,000円	400円	300円	

#### ③その他

回数券	11枚綴り	6,000円(譲渡可)
-----	-------	-------------

## 第7回 筑西広域イベント

### 開催

# やっぺん



日時：平成17年**11月27日**(日)  
午前9時～午後3時※雨天決行  
場所：**県西総合公園**  
(筑西市桑山2818)

### イベント内容(予定)

- 熱気球の体験
- 子供広場・大人広場(昔の遊び)
- 献血コーナー
- 大抽選会
- そば打ち実演・販売
- スタンプラリー
- やっぺん汁販売
- 輪投げコーナー
- 物産店
- 消防コーナー
- 郷土伝統芸能・舞踊発表
- フリーマーケット



※内容は変更になることもあります。  
※車の混雑が予想されますので、会場周辺にお住まいの方は、なるべく徒歩や自転車でご来場ください。  
※ごみの持ち帰りにご協力ください。

【お問い合わせ】  
筑西広域市町村圏事務組合事務局企画調整係  
TEL.0296-22-7979

### パソコン講座の募集

#### ①JWCAD初級講座

パソコンにおける図面作成基本操作習得の講座です。

日時：平成18年**1月14日**(土)、  
**21日**(土)、**28日**(土)  
午前9時～午後4時

- 募集人数 各コース20名(定員になり次第締め切り)
- 受講料 6,000円(テキスト代の2,000円前後は別途負担)
- 場 所 筑西地域職業訓練センター
- 対象者 筑西広域圏内に在住又は勤務の方(65歳未満)

【お問い合わせ】  
筑西地域職業訓練センター TEL.0296-75-1254  
※お申し込みは電話確認のうえお願いします。

#### ②デジタルカメラ初級講座

デジタルカメラの基本的な使い方とパソコンにおける写真データの管理や修正を学びます。

日時：平成18年**2月18日**(土)、  
**25日**(土)、**3月4日**(土)  
午前9時～午後4時

### 「福祉センターあまびき」

#### 忘・新年会のご予約承ります!

豊かな緑と静かな自然環境に囲まれた「福祉センターあまびき」では、様々なサービスで皆様方をお迎えいたします。さらに広域圏内なら無料送迎バス(要予約)をご利用頂けます。お気軽にご利用下さい。



お問い合わせ  
TEL.0296-58-5211(代) FAX.0296-58-7780

## クイズで知るちくせい広域 抽選で8名の方に筑西広域の特産品をプレゼント!

※当選者は次号の「ちくせい」で発表させていただきます。

次の4つの質問にそれぞれ当てはまる言葉(今回は○の中にはすべて漢字一文字が入ります。回答はひらがなでも可)をお答えください。筑西広域に関する言葉が入ります。

**問1** 10月1日、岩瀬町・真壁町・大和村の3町村が合併して誕生した新市の名称。市のほぼ中央部を流れる川と同じ名称で、市章デザインもそれをイメージしています。また、市内には桜に関連した名所があります。人々の憩いの場となっています。



新市の市章

答え：○○市

**問2** 「こみかげ石」「常陸こみかげ石」とも呼ばれる、硬質で堅牢な真壁石で作る伝統工芸品で、平成7年に国の指定を受けました。江戸中期から、常夜燈として地域の寺社に奉納されるようになり、密弘寺の常夜燈は真壁地区に現存するなかで最も古いものです。



答え：真壁○○○

**問3** プールからサウナ、お風呂、トレーニングルームまでそろった筑西広域市町村圏の公共施設。丸一日リラックスして快適に過ごせる憩いの場所です。子どもから大人まで楽しめる各種プールや開放的な屋外のテラス、食事や休憩をゆっくり楽しめる大広間などがあります。



答え：筑西○○館

**問4** 全国の市場で高い評価を受けている筑西市名産の果物。県の銘柄産地に指定されています。8～9月に出荷され、その種類は幸水を筆頭に赤梨とよばれ、他に豊水、新高、長十郎などがあります。味は甘くてとても水々しく、秋の味覚には欠かせない果物です。



答え：関城○

応募方法／官製ハガキの裏に、4問すべてのクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してご応募ください。  
応募先／〒308-0803  
筑西市直井1076  
筑西広域市町村圏事務組合  
「クイズで知るちくせい広域」係  
応募締切／平成17年12月20日(火)  
当日消印有効

#### 前号の答え

- 問1：「どすこいべア(どすこい)」
- 問2：「県西総合公園(けんせい)」
- 問3：「ゆずマレード(ゆず)」
- 問4：「結城袖(つむぎ)」

応募総数90通 当選者8名

- 岩岡 時子さん [結城市]
- 岡野 光枝さん [筑西市(旧下館市)]
- 浜野たか子さん [筑西市(旧下館市)]
- 小松崎令子さん [筑西市(旧下館市)]
- 為貝 勝恵さん [筑西市(旧関城町)]
- 宮田 幸男さん [筑西市(旧協和町)]
- 酒寄 昇さん [桜川市(旧岩瀬町)]
- 延島 啓造さん [桜川市(旧真壁町)]